

# 「とくしま未来創造プラン」の取組み ～徳島からの新たな挑戦～

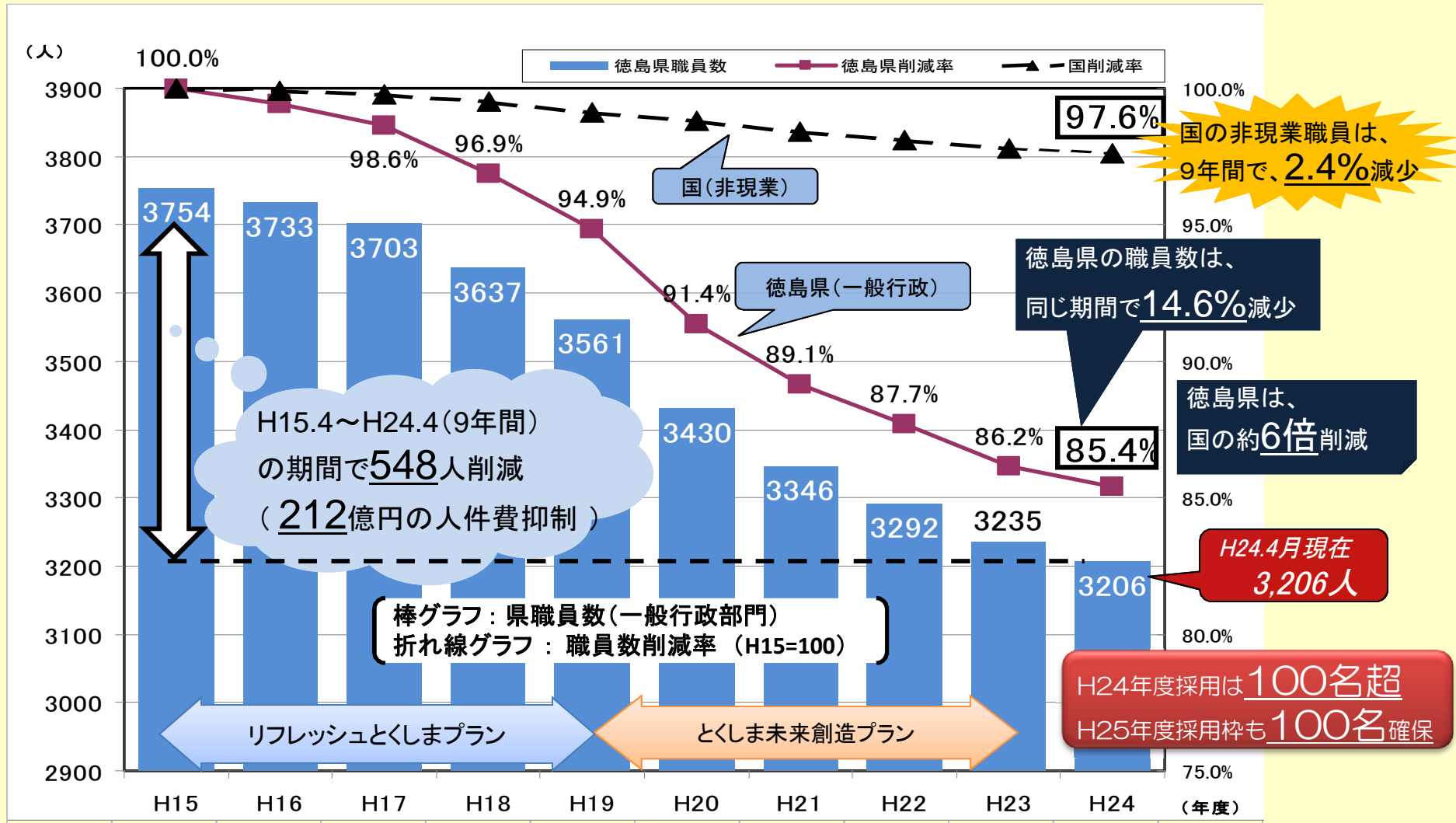


平成25年2月  
徳島県

# 1 「未来志向の財政構造」づくり

## (1) 「更なる歳出改革」の推進 ~総人件費の抑制~

### ① 徳島県職員数の推移について



## ② 職員給与の臨時的削減について

### 財政構造改革基本方針に基づく「職員給与の臨時的削減」の取組み

H20～22 職員給与の臨時的削減  
(H20.1～3月の前倒し実施分を含む)

削減率  $\Delta 10\sim 7\%$

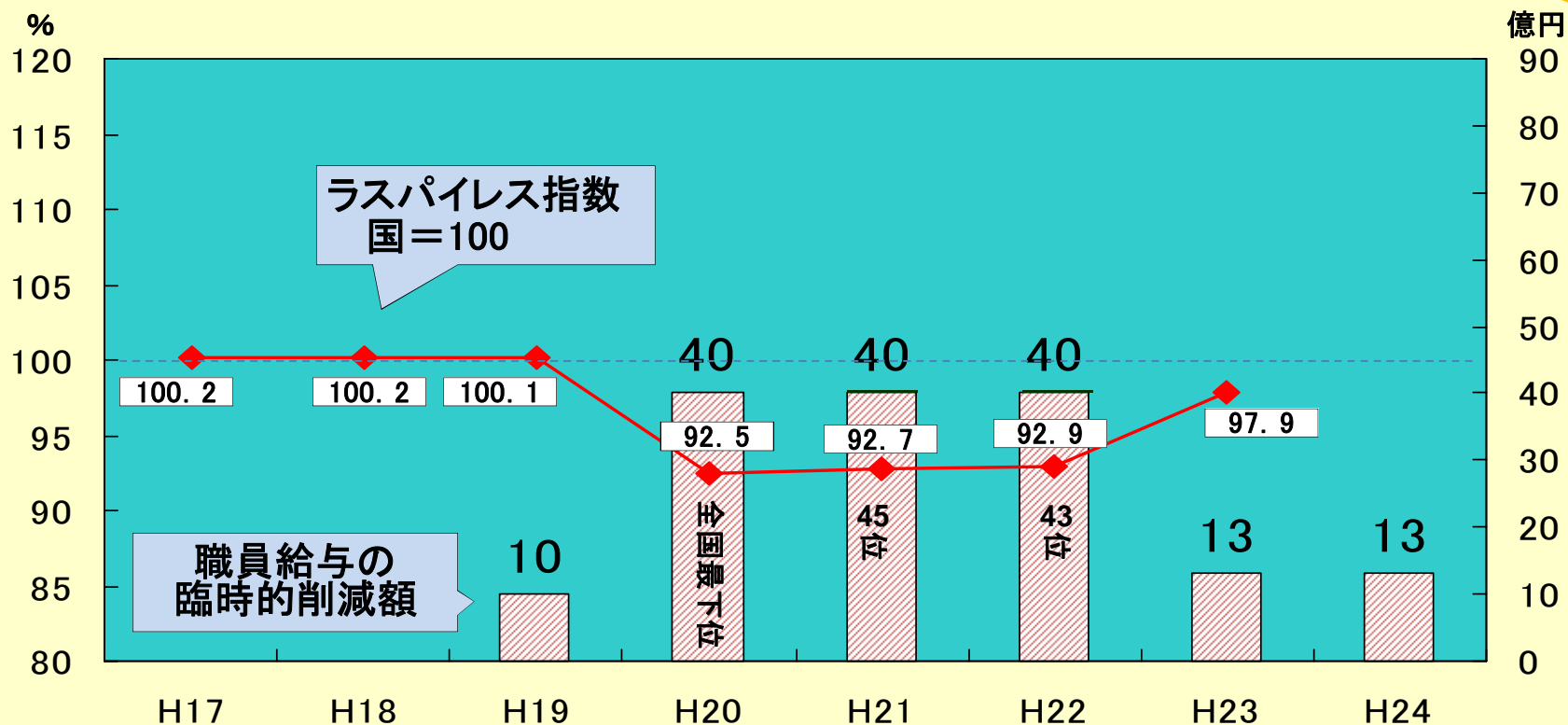
収支改善効果 130億円

H23～24 職員給与の臨時的削減

削減率  $\Delta 5\sim 1\%$

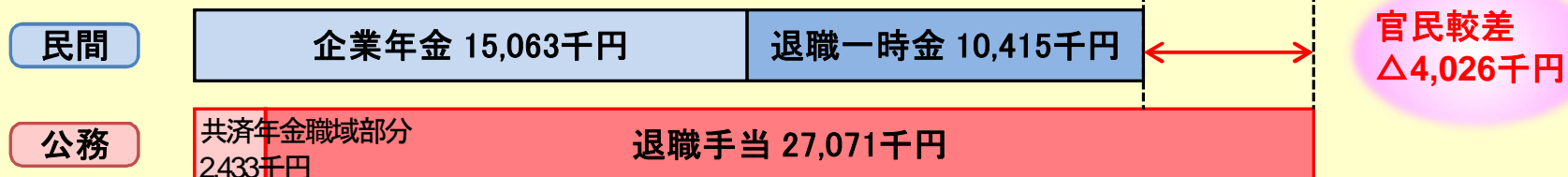
収支改善効果 26億円

臨時的給与削減  
による収支改善  
(H24までの累計)  
156億円



### ③ 職員の退職手当の見直しについて

#### 退職給付に係る官民比較調査結果(人事院実施)



4,026千円公務が民間を上回った

較差解消のため退職手当の引き下げを実施

民間との均衡を図るために設けられた「調整率」を段階的に引き下げ

期 間	調 整 率
現行	104/100
平成25年 1月1日 ~ 平成25年9月30日	98/100 ( $\Delta 6\%$ 引)
平成25年10月1日 ~ 平成26年6月30日	92/100 ( $\Delta 6\%$ 引)
平成26年 7月1日以降	87/100 ( $\Delta 5\%$ 引)

引き下げを次年度以降にすると  
約4億5千万円の県費負担が必要

## (2) 「新たな歳入確保」の展開

### 重点6項目

ふるさと納税

県税徴収率

広告事業

未収金対策

未利用財産

受益者負担の適正化

### 未利用財産の有効活用

実績 (H24年度)

- ・土地売却 8件、約 2.6ha
- ・土地貸付 7件、約 10ha



徳島小松島港赤石地区

## 歳入確保

H24年度目標  
4億円

### 県税徴収率の向上

全国5位 (H23年度)

### 広告事業

#### ネーミングライツ導入

新たに2施設追加、計 11施設に！

ろうきんホール



中央テクノスクール  
多目的ホール

昭和町1丁目歩道橋



歩道橋への導入は四国で初

先行供  
用に合  
わせ導  
入

歳出の中から  
歳入を生み出す

「企業誘致」の推進

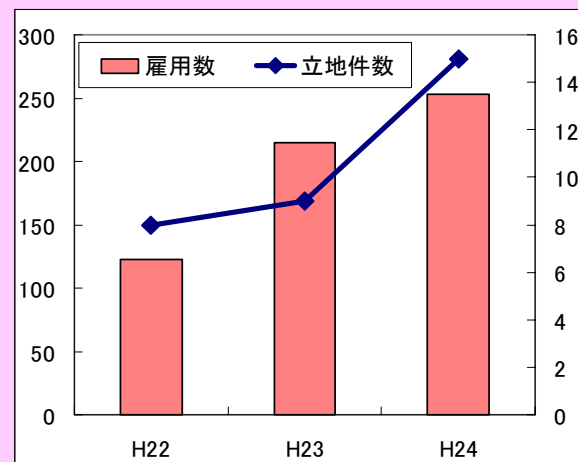
雇用、税収の増  
(経済波及効果)

LED等成長分野にターゲットを絞ったワンストップサービスの誘致活動

### H24. 12月までの誘致実績

全国屈指

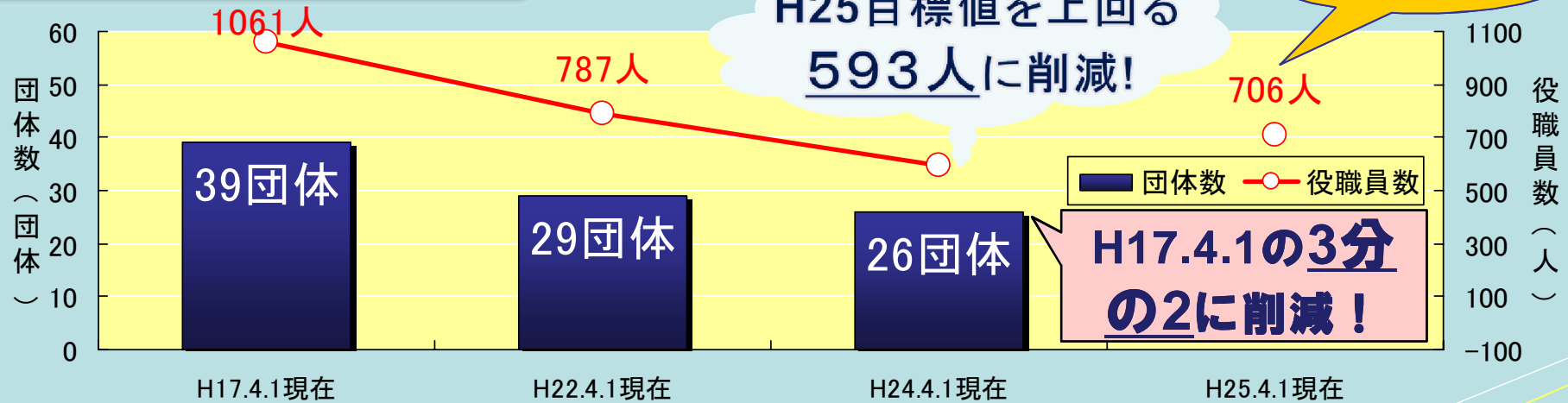
- ・立地件数 15社
- ・雇用253名



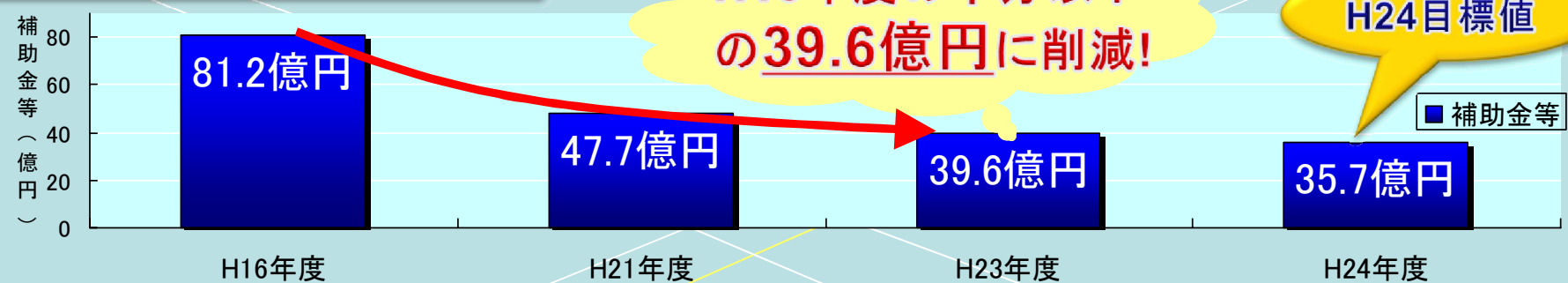
### (3) 「公営企業等経営」の新たな展開 ～外郭団体の経営改善状況～

#### ① 第1期及び第2期経営改善計画によるこれまでの取組み成果

##### 団体数と役職員数の推移



##### 県からの補助金等の推移



第1期及び第2期経営改善計画の推進により、大幅な経営のスリム化を実現!

## ② 『次期経営改善計画』の策定について

厳しい財政状況

地方公共団体  
財政健全化法の全面施行

議会や県民への説明責任

経営健全化や透明性の確保のための取組みを推進

新たに策定した「外郭団体見直し等の基本方針」に基づき  
「次期経営改善計画」(H25～H27)の策定を要請！

「見直しの基本的考え方」 ～「計画策定の柱」～

役職員数▲5%  
県補助金・  
委託金▲10%

経営改善計画  
の達成度等を  
分析する「自  
己点検評価」  
の実施

効率的・効  
果的な経営  
の推進

点検評価の  
充実

情報公開の  
更なる推進

公益法人制  
度改革への  
対応

団体のHPに  
よる財務状況  
や活動状況な  
ど積極的な情  
報発信を推進

H25年11月  
までに、全団  
体が制度改革  
への対応完了

「県民サービスの向上」と「県財政の健全化」に向けて！

# (4) 「新しい人事・人材システム」の推進 ～3,000人体制に向けて～

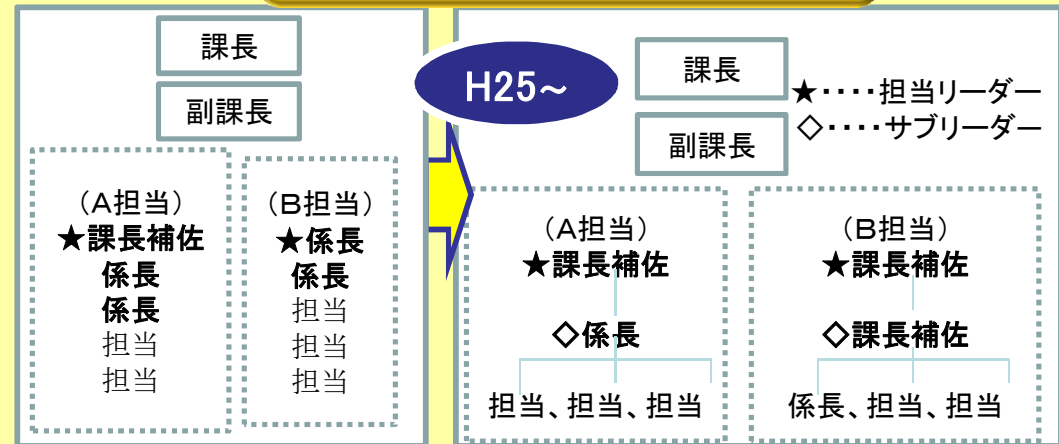
「職場力の強化」による「組織活性化」に向けて

## 【「担当制」の見直し】

- ・ 担当リーダーの役割の明確化と権限の強化
- ・ サブリーダーの設置
- ・ 「担当」の規模・単位の適正化

柔軟性、機動性等「担当制」の良い面を維持しつつ、責任体制やマネジメント、指導・育成力を強化した組織へ

「業務執行力」と「指導・育成力」強化に向けて



## 【職場における人材育成】

- ・ 「OJT研修課程」の創設
- ・ 業務のマニュアル化の推進

OJTの「指導方法・内容」を明確化  
OJTをサポートする研修を実施

職場における人材育成の  
効果的実施

## 【若手職員のキャリアアップ支援】

- ・ 若手リーダーの育成  
「総計審若者クリエイト部会」へ参加
- ・ 官民交流の研修
- ・ 若手職員の夢の実現支援事業(仮称)  
若手職員グループによる行政課題の処方箋づくり
- ・ 国等との人材交流の推進  
「研修派遣」から政策立案が可能な「割愛派遣」へ

「プロ職員」  
の育成



## 2 「活力みなぎる職場」づくり

### (1) 「意欲あふれる職場」の構築 ～「業務・職場改善取組」～

#### ◆「職員提案」による「業務・職場改善取組」を推進



平成20年度から全庁的に「業務棚卸し」を実施

累計7,975件 (H20～)

平成24年度実績

#### ＜業務改善＞

- ・報告件数 510件
- ・削減時間 約3万6千時間
- ・削減経費 約4千7百万円

#### ＜ひとり1改善＞

- ・報告件数 2,501件

#### ＜コンプライアンス推進＞

- ・報告件数 225件

#### 業務改善取組み

太陽光発電所の建設に係るプロポーザル競技方式による効率的な工事発注



最優秀賞

#### コンプライアンス推進取組み

職業訓練を兼ねた地域貢献活動



県職員一人ひとりが「ボトムアップ」で取組み

#### ◆民間事業者の業務実施による改善効果

平成24年度 新たに民間事業者への表彰を実施

受賞事業

徳島県庁コールセンター  
運用業務委託事業



住まいの安全・安心な  
リフォーム推進事業



徳島県立牟岐少年自然の家  
指定管理運営事業



県行政の効率的運営と県民サービスの向上に貢献

### 3 「夢を支える経営体」づくり

#### (1) 「新時代に相応しい組織」の構築

##### ◆「知の拠点」農林水産総合技術支援センター

- ・分散化した施設を集約化し、  
「研究・普及・教育」の機能を統合・強化  
⇒ 業務の効率的・効果的な推進  
⇒ 「県民へのワンストップサービス」の提供
- ・新たなブランド化に向けた研究開発への取組み  
⇒ 農業及び食料産業の活性化
- ・「アグリビジネススクール」の新設  
⇒ 経営能力に優れた人材の育成

H25年4月 いよいよオープン！



##### ◆「徳島県防災・危機管理センター」

- ・災害対策本部機能の拡充・強化  
(統括司令室の創設など)
- ・関係機関と連携した災害応急体制の確保
- ・ICTを活用した情報の集約・共有化  
⇒ リアルタイムの情報収集、TV会議機能

H25年4月 本格運用



「南海トラフ巨大地震」を迎え撃つ！

## (2) 「新時代に相応しい組織」の構築

「総合メディカルゾーン」を核とした県立病院等の機能強化

### ◆ 地方独立行政法人 徳島県鳴門病院

- ・ 県北部はもとより香川県東部や淡路島もカバー
- ・ 県立3病院とともに救急・災害医療を担う

県北部の  
中核的病院



H25年4月スタート

#### 中央病院

- ・ ドクターヘリの基地病院
- ・ がん医療へ最新機器導入
- ・ 周産期医療体制の充実

#### 海部病院

- ・ 「高台移転」による津波対策
- ・ ヘリポートの整備
- ・ 平成25年度中の工事着手へ

#### 三好病院

- ・ 免震構造の「高層棟」新設
- ・ 「緩和ケア病棟」開設  
(県内公的病院で初)

県立みなと高等学園に続き  
全国モデルとなる特別支援学校づくり

### ◆ 県立盲学校、聾学校の併設

全国初

- ・ 幼稚部から高等部まで備えた盲・聾学校の併設
- ・ 全国モデルとなる教育環境を整備

それぞれの障害に応じた専門的な教育  
互いを認め合う中で共に活動し、学ぶ学校づくり

教員の連携

児童 生徒の交流

視覚障害及  
び聴覚障害  
教育の拠点



H26年4月スタート

新たな校名 決定  
「県立徳島視覚支援学校」  
「県立徳島聴覚支援学校」

# 4 「新しい公共サービスの仕組み」づくり

## (1) 「地方の時代」に向けた連携強化 ～「関西広域連合」～

### ◆関西広域連合との連携

#### 本四高速への全国共通料金の導入

割高な料金設定「平成の大関所」

- 徳島県が**格差是正**を他府県に先駆け提言
- 関西広域連合の最初の決議  
「**公平な移動の権利の保証**」を強く訴え



「平成の大関所」を  
「真の夢の架け橋」に

H24.3.14 本四調整会議 **最終合意**

**H26年度**

全国共通料金の導入へ  
全国プール制への移行へ

H24.11.20 料金制度の検討スタート

#### 広域医療連携の推進

##### ドクターヘリを活用した 広域救急医療体制の充実

- 全県下に対応した救急医療体制を充実
  - ・県内一円を**20分程度**で到着する機動力
- 広域医療体制の充実
  - ・関西広域連合でドクターヘリを一体的に運行
  - ・災害時には徳島県が全体のオペレーションを担当

助かる命を助ける

「救命率の向上」「後遺症の軽減」

「徳島のヘリ」が  
不在時は、  
和歌山県のヘリが  
本県をカバー



基地病院 県立中央病院

「3次医療圏（府県単位）」を越える**新たな概念「4次医療圏・関西」**を実現！

「県民の夢や希望の実現」に向けて

「とくしま未来創造プラン」  
～徳島からの新たな挑戦～

